

# あらかわ寺子屋

～夢と希望に溢れた世界へ、可能性の扉を開こう！～

## 報告書

実施: 2011 年 10 月 16 日(日)

報告書作成: 2011 年 12 月

社団法人東京青年会議所  
NPO 法人イノベーションネットワーク  
共催

後援: 荒川区、東京商工会議所 荒川支部  
協力: 株式会社リバネス、アクアフェアリー株式会社

協賛: 財団法人 JKA

(平成 23 年度オートレース公益資金による体育事業その他の公益の増進を目的とする事業に関する補助金)

## 1. 事業概要

### 事業の目的

「中学生が自らの多くの可能性に気付くきっかけを大学生と共に作ることで、中学生と大学生が夢と希望に溢れ、一人一人が明るく豊かに働く社会を作ること」

### (目的の補足)

目的も無く、希望も無く、高校生になり大学生になってしまい、就職するときに、何のために就職するのかもわからず、夢や希望が持てない状況になってしまってからでは、そこから夢と希望に溢れた人材となることは大変な困難を伴います。

中学生という多感な時期に、多くの明るい豊かな大人達と、少し歳の近い大学生を仲介役としてディスカッションを行うことで、大人になって就職をするときに、よりプラス思考ができるようになり、明るい豊かな社会の実現につながります。

大学生も本事業をきっかけに就労の楽しさについてより深く考えることができます。中学生が、親や教師だけではない、生き活きとした大人たちと、大学生を仲介役として、積極的にコミュニケーションを行うことにより、中学生も大学生も、大人になり働いて社会参加することの意義と楽しさを肌で感じるすることができます。

### 日時・場所

2011年10月16日(日) 荒川山吹ふれあい館 多目的室(東京都荒川区荒川7-6-8)

- ・ 事前講座(大学生スタッフおよび大人を対象としたもの) 10:00~12:00
- ・ 中学生対象 寺子屋 13:05~15:10

### 参加人数

中学生 10名、小学生(中学生の弟)1名、保護者 1名、中学校関係者 1名

社団法人東京青年会議所 メンバー 12名

NPO 法人イノベーションネットワーク メンバー 3名

アクアフェアリー株式会社 1名

### 使用教材

高分子ポリマー、プラスチックのコップ、鉛筆の芯(電極用)、006P 乾電池、配線材、オルゴール  
水素発生キット・燃料電池発電セル(アクアフェアリー株式会社製)

## 2. 事業の流れと検証

### タイムスケジュール

- 10:30 講座・ディスカッション
- 11:55 休憩
- 12:30 中学生登録開始
- 13:05 趣旨説明開始
- 13:10 第1部共通プログラム開始
- 14:00 第2部ディスカッション開始
- 14:40 グループ代表者による発表(1グループ3分×4グループ)  
講評(1グループ1分×4グループ)
- 14:56 将来の自分への手紙およびアンケートの記入
- 15:10 閉会



午前中の講座で、大学生スタッフ4名と大人たちに対し、子どもたちとの接し方・教育の仕方・今回用いる燃料電池キットの説明を行いました。



その後、どのように午後すすめればよいか、大学生スタッフ 4 名と大人たち全体でディスカッションを行い、その後大学生は実際に 25 歳の自分に手紙を書き、難しさと楽しさを実感しながら、どのように進めるべきか考えました。

事前に子どもたちとの接し方や教育の仕方の講座を受け・ディスカッションを行っておいたおかげで、午後のセッションを期待と自信を持って臨むことができ、子どもたちの意見を上手に引き出すことができるようになりました。

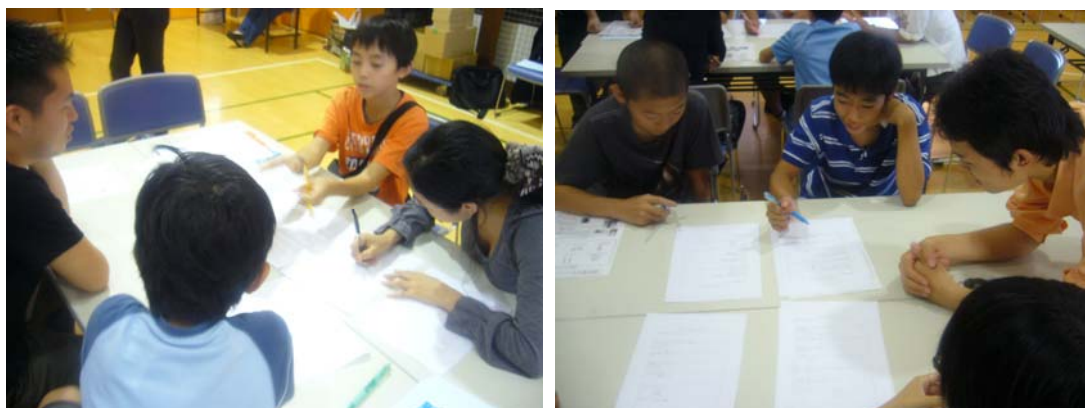


午後の進行は、当日参加した 11 名の児童・生徒 2～3 名に 1 名の大学生をつけ、4 グループで行いました。

第 1 部の共通プログラムでは、参加中学生は、燃料電池の仕組みを、自分が手を動かして体験し、生で感じる事で、技術革新の可能性に触れてもらう事が出来ました。アンケートからもすべての中学生が技術革新の可能性を感じたという結果を得られました。また大学生スタッフや大人たちも、新エネルギーについて中学生に教えることで、自らも学ぶ事ができました。



第2部では、「燃料電池」を題材に大学生が中心となり、グループごとに新規事業を中学生と一緒に考えまし。事前に用意したプランニングシートを使い中学生、大学生、大人たちが夢や可能性について議論することで、子どもたちの柔軟な発想を引き出す事が出来ました。大変盛り上がり若干時間を延長しました。具体的な新商品アイデアがでるなどビジネスの観点をもつことができました。



その後、大学生がセールスマンとなり、中学生を従えて議論の結果を発表しました。発表を創り上げるプロセスは、アンケートによるとすべての中学生が、議論が楽しかったと答えました。夢を創造する楽しさに気づいてもらえたと考えます。中学生と大学生が一体のチームとなって楽しく発表をすることで、中学生と大学生のどちらも、就労の楽しさと可能性を実感する事が出来ました。



大学生と中学生の発表に対し、前向きな講評を行うことで、中学生も大学生も、自らが行った議論の意味が認められたことを実感し、その延長線上に実際のビジネスがあるということを感じることができました。

本事業を通じ、6割の中学生が、就労意欲が高くなりました。もう少し、この議論と「働くこと」の連動を伝えればこの割合はさらに高くなったものと考えます。教える側の大学生等は、子どもに教える楽しさを実感できました。大学生の感想は、4名全員が楽しかったためまたやりたい、というものであり、全員の就労に対する意欲が高くなりました。

最後に、発表した内容をより強固にするため、中学生参加者に、夢を実現しつつある18歳の自分宛に手紙を書いてもらい、各自に持ち帰ってもらいました。手紙を書くことで「夢」を実現する手段や時期について考えてもらうことが出来ました。大学生や大人たちのサポートで将来について想像することの楽しさを実感し、楽しみながら書いていました。また、大学生にも25歳の自分への手紙を書いてもらうことで同じように「夢」を実現する手段や時期について考えてもらうことが出来ました。

### 3. 次の行動と今後の展開

本報告書をベースに、地域の企業や学校単位による独自開催ができるようなパッケージ化を行っていき、独自開催をサポートしていきます。

地域の企業にとっては、地域とのつながり、地域貢献ができると同時に、自らの技術の新しいビジネス展開を、中学生や大学生のフレッシュな頭脳で考えてもらえる絶好の機会となります。

多くの学校や企業が、本事業により生まれた独自開催のパッケージを用いて同種の事業を行うことでパッケージ自体もブラッシュアップされ、さらに利用しやすくなりメリットを感じられるようなものに発展します。

多くの開催機会で、さまざまな種類の「仕事」について、多くの未就労の児童・生徒・学生が、疑似体験し考えることができるようになります。

荒川区だけではなく、他地域にも発展し、寺子屋の新しい形として、全国のさまざまな場所で開催されるようになります。

参加した未就労者が、働くことに対する夢や希望をどんどん抱き、就労率が向上し、若者がワクワクしながら働くのが当たり前の社会になります。企業と参加者が、企業のサービスが社会にどのように役立つかを共に考え、子どもたちは将来、人のため、社会のために役立つようになりたいなどの夢や希望をもち、企業も新たな気づきを得られます。

企業・学校・地域が三位一体となり利益が増進することで、明るい豊かな社会が実現します。

あらかわ寺子屋 ～夢と希望に溢れた世界へ、可能性の扉を開こう！～

2011年10月16日(日) 13:00～15:00

第1部: 理科実験教室「燃料電池を作ってみよう！」

- ・ 燃料電池とは何か？
- ・ 実際に作ってみよう！
- ・ 最先端の燃料電池を体験しよう！

第2部: 「燃料電池を売ってみよう！！」わくわくビジネスプランニング道場

- ・ 第1部で学んだ燃料電池の技術は、そのままではお客様を幸せにすることも、お金を生むこともできません。第2部では、「誰を幸せにするのか？」「どうやって売るのか？」考えてみよう！！
- ・ 誰を幸せにできるか考えてみよう？どんな幸せを提供できるかな？
- ・ どうやって売るか？どうやったら興味を持ってもらえるか？

エンディング: 夢と希望に溢れた世界へ、可能性の扉を開こう！

- ・ 18歳の自分に手紙を書いてみよう！
- ・ あなたの「夢」と18歳のあなたへのエールを書いてください。

特定非営利活動法人 イノベーションネットワーク・社団法人 東京青年会議所 共催

後援 東京商工会議所荒川支部 荒川区 財団法人 JKA

協力 株式会社リバネス

特定非営利活動法人 イノベーションネットワーク <http://www.inovenet.org/>

「次世代を担う若者の人材育成・人材活用」、「ベンチャー企業や中小企業のハンズオン支援」、「活力のある地域作り・まちづくり」、「コミュニティ・ビジネス&NPO連携による事業の付加価値づくり、効果的・効率的推進」等を複合的に進めている NPO 法人です。

社団法人 東京青年会議所 <http://www.tokyo-jc.or.jp/>

社団法人 東京青年会議所は様々な異業種の青年が社会貢献活動を行う公益団体です。東日本大震災の復興支援、都知事選挙都議会議員選挙・区長選挙等の各種公開討論会、わんぱく相撲等を開催しています。荒川区においては、荒川フードフェスティバルを開催しています。

わくわくビジネスプラン フォーマット

商品・事業名	
燃料電池をどんな形にする？どんな使い方にする？	
誰がお客かな？	
お客様にどんな幸せを提供できる？	
どこで売る？	
どうやって宣伝する？	
その他	